

2013年(平成25年)1月12日 土曜日 14版

第2東京 28

## 勝負 「菖蒲すとらっぷ」受験生応援

葛飾・地元住民が中3生に贈る

受験シーズンを目前に控え、花菖蒲で知られる葛飾区堀切地区の住民が、地元の菖蒲まつりのために作った「菖蒲すとらっぷ」を「菖蒲(勝負)すとらっぷ」と名づけて、お守りとして地域の中学3年生に贈る取り組みを続けている。

ストラップを作ったのは、地元で毎年6月に開いている菖蒲まつりの運営協議会。地元の八つの町会や商店会などでつくる協議会が、2009年、30回目のまつりを記念して、自費でプリキ製のストラップを作って販売した。地元の中学校たちがボランティアでまつりに参加してくれて、「何かできることはないか」と考え、感謝の意味もこめて合格祈願のお守りにすることを思いついたという。

翌10年から、菖蒲に受験の「勝負」をかけて、地元の堀切天祖神社(堀切3丁目)の宮司に御魂を入れ



「菖蒲(勝負)すとらっぷ」を持つ「堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会」の小高定夫さん＝葛飾区堀切地区センター

てもらい、生徒に手渡し始めた。生徒からは「受験に向けて励みになった」「希望校に合格できた」などと好評で、4回目となる今年も配ることになった。15日に区立堀切中学校(堀切1丁目)と綾瀬中学校(小菅2丁目)の3年生に渡す。

協議会の小高定夫さん(69)は「ストラップが少しでも子どもたちのために役立ってくれれば、うれしいですね」と話している。

「菖蒲(勝負)すとらっぷ」は一般にも販売する。価格は500円。問い合わせは葛飾区堀切地区センター(03・3693・5637、月～金、午前8時半～午後5時)。

堀切地区の花菖蒲は歌川広重の浮世絵などに描かれるほど、江戸の名所だった。現在の堀切菖蒲園は約200種類、約6千株の花菖蒲があり、まつりの6月に見ごろを迎える。(秦忠弘)